

新入生のみなさんへ 入学式校長式辞に代えて

桜の木には、若葉が枝から顔をのぞかせ、光が丘公園の木々の緑が目にもまぶしく映る、うららかな春の日に、新入生238名の入学を許可し、本校に迎えること、校長としてうれしく思います。

残念ながら、入学式は予定の日から延期となってしまいましたでしたが、東京都知事小池百合子様をはじめ、多くの方々から、新入生の入学を祝うメッセージをいただいています。皆様から寄せられたあたたかいお祝いに感謝申し上げるとともに、私からも新入生の入学をお祝いいたします。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から、東京都立光丘高等学校の一員として、誇りと自覚をもって、新しい生活を始めていきましょう。

皆さんの入学に当たり、私から、本校の教育目標について、今私たちが直面している状況と合わせてお話しします。

本校の教育目標は、三つの言葉から成っています。「信愛 気魄 創造」です。信愛・人間尊重を心がけ、常に誠意をもって人に接し、人から信じられ愛される人間になる

気魄・なにごとにも責任をもってやりとげる気概と忍耐力を養う

創造・広い視野にたつて常に新しいものを創りだすように努力する

この三つが本校の教育目標です。

さて、私たちは、新型コロナウイルス感染症という未知の病気との戦いを強いられています。現在東京都では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、さまざまな対策がとられています。本校も、5月6日までは臨時休業とし、学校生活も大きく制限せざるを得ません。

そのような生活の中で本校教育目標の三番目にある、「創造・広い視野にたつて常に新しいものを創りだすよう努力する」を考えてみましょう。これまでの中学校生活とは違った、新しい学びのあり方を考え、実行していくこと、ではないでしょうか。また二番目の、困難な生活にも耐える「気魄・なにごとにも責任をもってやりとげる気概と忍耐力」を身につけていきましょう。学校から与えられる学習課題をやりとげるのはもちろんですが、学校生活が始まる際は、学級での係や委員会活動、行事や部活動でも責任をもって最後までやりとげるよう努力しましょう。そして一番目の「信愛・人間尊重を心がけ、常に誠意をもって人に接し、人から信じられ愛される人間になる」ですが、人間尊重を心がける、とはどういうことでしょうか。人から信じられ愛される人間になるにはどうすればよいのでしょうか。私は、限りある時間と命を大切にすることだと考えます。光丘高校生には、時間と命を大切にしてほしい、これが私の願いです。本校卒業

までの、高校生であるかけがえのない時間を大切に、勉強やスポーツに励み、自分の命も他人の命も尊重した、いじめのない学校生活を送ってほしいと思います。当面は、家庭での規則正しい生活、学校からの学習課題に取り組むことが、時間を大切にすることになり、不要不急の外出を控えることが、自分と他人の命を守ることになると思います。それが「信じ愛される人間になる」ことに通じると、私は考えます。

本校の教育目標について説明しました。信愛、気魄、創造、この言葉は、生徒手帳にも書いてありますので、折りにふれ、皆さんも考えてみてください。

そしてもう一つ、自分をここまで支えてくれた家族、周りの人たちへの感謝を忘れないでください。

皆さんの中には、小学校入学前の3月、東日本大震災後の計画停電の中で幼稚園や保育園の卒園式を迎えた人もいるかもしれません。また、先月の中学校の卒業式では、感染症拡大防止のために、これまでと違った形で、自分の思い描いていたものと違った卒業式を経験した人も多いでしょう。そうした困難を乗り越え、皆さんは今日、高校入学の日を迎えました。今日を迎えるに当たっては、家族や友達、周りの人々の支えがあったこと、そのことへの感謝の気持ちを改めて思い起こしてください。この文章を読み終えたら、家族へ、支えてくれた人へ、感謝の言葉を伝えましょう。

私自身、こうして今日新入生を迎えること、新入生のみなさんに出会えたことに感謝しています。この出会いを大切にしていきます。

あらためて、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。結びに、私たち、光丘高校の教職員一同、新入生をあたたく迎え入れ、卒業まで励まし支えていくことを、ここに誓い、新入生の皆さんへのメッセージとします。

令和2年4月7日

東京都立光丘高等学校 校長 尾崎 肇